

活力ある魅力あふれるまちへ

八王子市長

石森考志



私たちのまち「八王子」は高尾・陣馬の山々など豊かな自然に彩られながら、先人たちの築いてきた輝かしい歴史と伝統に育まれてきた由緒あるまちです。そして、都心近郊という位置と交通の要衝である地勢を活かしながら成長を続け、多摩地域最大の人口 58 万人を超える都市へと発展しています。私は、先人たちが培ってきたこの町の歴史を未来につなげ、この八王子がこれからも愛すべき郷土として永久に発展し、全ての市民が誇りを持つことができるまちづくりを目指しています。

さて、我が国は、少子高齢社会の進行、成熟経済下での新たな経済成長の模索、東日本大震災の経験からの教訓などにより、社会的にも経済的にも大きな転換期を迎えています。本市においても、持続可能な経済成長や加速度的にすすむ地方分権への対応など行財政運営への課題は多く、自治体の力量が厳しく問われています。

そこで私は、これからすすむべき方向を市民の皆さんとともに見定め、このような激動する時代の要請に的確に対応していきたいとの思いから、市民会議の皆さんに策定していただいた素案を踏まえ、新たなまちづくりに挑戦すべく市政運営の基本的指針となる基本構想を改めるとともに、構想を実現するための 10 か年の基本計画をここにあわせて策定いたしました。

この構想・計画の大きな柱は「人とひととの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」です。

人とひととが支えあい、信頼の絆でつながることで生きる喜びを感じられる豊かな社会。そこには古^{いにしえ}から積み重ねられた人々の知恵が融合し、大きな転換期にあっても新しい時代を切りひらいていく力があります。私は、本市が誇る優れた市民力・地域力に支えられ新たなステージを迎える「市民との協働」により、人々が集い、憩い、学び、働き、安心して暮らしていける「活力ある魅力あふれるまち」の実現に取り組んでいきます。そして、私の政治の原点である「郷土愛」を胸に、産業都市、学園都市、文化都市など多様な顔を持ち発展してきた本市の無限の可能性を活かしながら、多摩をけん引する真の中核都市として「新生・八王子」のまちづくりに向けて邁進していく決意であります。

結びに、この構想・計画の策定に当たり、1 年に渡る議論を経て素案を策定していただいた 184 名の「八王子ゆめおり市民会議 2011」の委員の皆様を始め、まちづくりへの熱い思いを寄せていただいた多くの市民の方々、そして、様々な視点からの議論を重ね、全会一致で賛成可決していただいた市議会議員各位に心から感謝申し上げます。

平成 25 年 3 月